



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成28年9月30日

吉田産業の新社屋が完成し営業スタート



(株)吉田産業 青森支店の新社屋 (事務所棟)

組合員である(株)吉田産業が問屋町内で進めていた青森支店の新社屋新築工事がこのほど竣工し、8月17日(水)に営業開始した。
同社は青森県八戸市に本社を構え、建設資材や土木資材、住宅設備機器等の販売・施工を行う専門商社である。大正10年に創業され、問屋町への進出は昭和45年。現在は、東北一円を中核に、北は函館から南は郡山まで19支店2事業部9営業所のネットワークで



事務所はこだわりのワンフロア

建設資材等を提供する。また同社には、設計から施工に至るまでの一連を管理監督する者の国家資格である施工管理技士の資格取得者が多数在籍。同社社員が講師となり、協力業者を対象に資格取得の講習会も行っている。
今回の新社屋により、問屋町の建材課と鋼材倉庫、堤町の青森支店の3拠点を集約。業務の効率化を図ると共に、従業員間のコミュニケーションの活性化も期待される。約2千坪の広大な敷地に、延床面積4百坪の2階建て事務所棟と7百坪の倉庫棟を構える。新社屋に使用された建材や設備等は建設資材等の専門商社らしく最新のモノを揃えている。

組合員昼食会で情報提供

組合員昼食会が、8月4日(木)に問屋町会館1階会議室で開催され、組合員ら43名が参加した。
はじめに、青森市健康づくり推進課の榊主幹が、がん予防について話した。榊氏は「青森県は都道府県別がん死亡率が11年連続全国1位と不名誉な記録を持つと共に、喫煙・飲酒習慣者の割合も全国最下位である。喫煙・飲酒は全てのがんの発生率を高めるため、がん予防には禁煙・節酒が必須である」と解説。また、がんや生活習慣病予防のために、塩分を控え、野菜を毎食摂取し、有酸素運動をすることを呼びかけた。
次に、公益財団法人産業雇用安定センターが、65歳の高齢者雇用確保措置終了後の就業を支援する「高齢年齢退職予定者キャリア人材バンク」について紹介した。



組合員説明会

多田理事逝去



故 多田 剛弘氏

当組合理事で、組合員の(株)多田商店代表取締役社長の多田剛弘氏が、平成16年から当組合理事を務めたほか、事業委員会副委員長、組合の外郭団体である青森交通安全協会問屋町支部の支部長を歴任するなど、組合運営に尽力、卸団地の発展に大きく貢献した。故人を偲び、ここに厚く感謝申しあげるとともに、ご冥福をお祈りする。

田剛弘氏が、去る8月20日逝去した。行年61歳。

組合員施設の賃貸並びに新規組合員加入承認について(承認) 第5回理事会

第5回理事会が8月22日(月)、問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは、問屋町ビジネススクールの平成28年度下期カリキュラムについて報告を行った。

主な案件審議は次のとおり。
案件一、組合員施設の賃貸並びに新規組合員加入承認について

案件二、つなぎ資金の借換について
案件三、平成28年度第6回理事会の日程等について

問屋町ビジネススクール 28年度下期カリキュラム

問屋町ビジネススクールでは、28年度下期のカリキュラムを公開し、申込を開始した。開校から6年目を迎える同スクールでは、これまで170講座が開催され、2,700名以上が受講。受講者からも高評価を得ている。

28年度下期は、新たなカテゴリーとして流通講座を設けた。同カテゴリーは、昨年度、組合が発表した『オール青森』を実現する流通機能向上のためのマスタープラン』に基づき新設。地域活性化の手段として、青森の優れた産品をアウトバウンドするには生

産者と流通業者を結びつける流通コーディネーターの存在が不可欠であると考え、同コーディネーター育成研修などを開催する。

その他、従来の営業研修や会計・経理、自己啓発研修なども引き続き開催される。



ビジネススクールの研修風景

問屋町会館が「空気クリーン施設」に認証

問屋町会館がこのほど、青森県より「空気クリーン施設」に認証された。

県が実施する「空気クリーン施設」認証制度とは、受動喫煙防止対策として施設内を禁煙にしていれば、施設の場合は「空気クリーン施設」、タクシー等の車両の場合は「空気クリーン車」として認証し、ステッカーを交付している。28年6月末現在で、県内全域で2,290施設、256台が認証されている。

喫煙の健康への影響は科学的に証明されており、平均寿命延伸のためには喫煙対策が重要である。短命県返上を目指す県としても、喫煙対策を重点課題の一つとして位置付け、喫煙率の減少や受動喫煙防止対策実施施設の増加に向けて取り組んでいる。施設内禁煙の事業所は、ぜひご登録いただきたい。



空気クリーン施設認証ステッカー

交際費の範囲について(など)等 第1回税務研修会

講師に青森税務署の藤田審理専門官を招いた、第1回税務研修会が7月27日(水)、問屋町会館で開かれ、組合員従業員ら17名が参加した。

主な研修内容は次のとおり。
▽覚えておきたい！交際費の範囲とその区分

一、交際費課税の趣旨
交際費課税の制度は、企業の費用を節約し、内部留保を充実し企業体質の強化を図るとい趣旨から設けられたものであり、原則として、その金額が損金に算入されないこ

ととされていた。(中小企業は年800万円までは損金算入可)。しかし、平成26年度の税制改正において、交際費等のうち接待飲食費の額の50%相当額は損金の額に算入できることとなった。また、中小企業においては、これまでの交際費年800万円までか、接待飲食費の額の50%相当額との選択制とされた。

二、交際費等の範囲
税法上の交際費等の範囲は、社会通念上の交際費の概念より幅広く定められており、法人が得意先等に対する接待、慶弔、慰安、贈答などに支出するものが該当する。交際費から除かれるものは次のとおり。
①従業員の慰安のために行

われる運動会、演芸会、旅行等のために通常要する費用②飲食その他これに類する行為のために要する費用(その法人の役員や従業員、親族に対する接待等のために支出するものを除く)であって、その支出する金額を参加した者の数で割って計算した金額が5千円以下である費用③カレンダー、うちわ、手ぬぐい等、その他のこれらに類する物品を贈与するために通常要する費用④会議の際の茶菓、弁当その他これらに類する飲食物を供与するために通常要する費用⑤新聞、雑誌等の出版物又は放送番組を編集するために行われる座談会、記事収集、取材に通常要する費用。
三、書類の保存方法

5千円以下の飲食費用が交際費等の範囲から除かれる取扱いで、次の事項を記載した書類を保存していることが条件となる。
①飲食等の年月日②飲食等に参加した得意先、仕入先その他事業に関係のある者等の氏名又は名称及びその関係③飲食等に参加した者の数④その費用の金額並びに飲食店等の名称及び所在地⑤その他飲食費であることを明らかにするために必要な事項。
四、会議費等の区分
会議に際して社内または通常会議を行う場所において、通常供与される昼食の程度を超える飲食物の接待に要する費用は、「会議に関連して、茶菓、弁当その他これらに類

する飲食物を供与するために通常要する費用」に該当し、交際費等に含まれないものとして取り扱う。
五、福利厚生費と交際費等の区分
社内の行事に対して支出される費用は、役員及び使用人の福利厚生を目的とするものとして交際費等には含まれないものとされる。
また、慶弔費の費用は、内規に基づく支出であっても、社会通念上、一般に相当と認められるものの範囲を超えるものは、支出の事情により判断することとなる。また、慶弔規定がない場合でも、その支出額が社会通念上と認められる金額であれば福利厚生費となる。

氷温はいつも新鮮! 水/熱/冷

大青工業株式会社
http://www.taiseiaomori.co.jp

- 設計施工
- 氷温システム
- 凍結・冷蔵設備
- 野菜・予冷設備 (真空/産圧強制冷却)
- 真空凍結乾燥設備
- 廃熱回収装置
- CA設備
- 自動製氷設備
- 衛生・給排水設備
- 空調設備

本社 青森市問屋町一丁目9番30号
八戸営業所 八戸市石堂三丁目9番13号
TEL 017(738)2131 FAX 017(738)9333
E-mail: info@taiseiaomori.co.jp

SINCE1906

- 計量器製造(経済産業大臣)
- 計測器修理(青森県知事)許可
- 建設業登録
- 機械器具設置工事業(青森県知事)許可(股・26)第15046号
- 電気通信工事業(青森県知事)許可(股・26)第15046号

衛星測量(GPS)・計量器全般・気象観測機器・理化学機器
測量機械・光波距離計・各種試験機・地震観測機器・製図用機械

青森 **株式会社 西衡器製作所**

本社 青森市新町二丁目6番20号 TEL (017) 773-1311 FAX (017) 723-2368
青森支店 青森市第二問屋町四丁目2番30号 TEL (017) 739-9555 FAX (017) 739-9557
八戸支店 八戸市卸センター一丁目5番16号 TEL (0178) 21-8100 FAX (0178) 21-8101
弘前支店 弘前市城東中央三丁目4番14号 TEL (0172) 26-3890 FAX (0172) 26-3891

街路樹を美しく整備

問屋町緑のボランティア隊

8月28日(日)、問屋町緑のボランティア隊による団地内美化活動が行われ、隊員とその家族26名が参加した。今回は、問屋町地区の幹線道路及び南側枝線道路の街路樹下枝刈りや、街路樹の除草作業を実施。まだまだ夏の暑さが残る中、隊員達は街路樹のみならず、歩道板の間から伸びる雑草の刈取りも懸命に行った。



問屋町緑のボランティア隊

今回の作業によって、ゴミ袋約50袋分の下枝等が刈られ、雑然としていた街路樹は再び美しさを取り戻した。あわせて、交差点の見通しも改善されたことにより、交通安全にも一役買っている。同隊では、問屋町及び第二問屋町の残りの地域の街路樹下枝刈りや除草作業を予定しており、問屋町の美化推進のため活動を続ける。

組合員社名変更及び代表者変更のお知らせ

【社名変更】

▽(株)ファミリーマート

(旧)サークルKサンクス

【代表者変更】

▽リコージャパン(株)

代表取締役 松石 秀隆

▽藤村機器(株)

代表取締役社長 藤村 充

▽八弘産業(株)

代表取締役 鈴木 博幸

問屋町だんしん

①インフルエンザ集団予防接種

日時 10月20日(木)

13時～15時30分

10月25日(火)

15時～17時30分



昨年のインフルエンザ予防接種の様子

②梵珠山ハイキング

日時 10月23日(日)

9時～13時

シャトルを追って一喜一憂

バドミントン教室

青森問屋町経営同友会受託事業であるバドミントン教室が7月27日(水)、青森市はまなす会館体育館において開かれた。同教室は組合員従業員からの要望を受け、昨年に引き続き2回目の開催。組合員従業員ら20名が参加した。同友会の西中会長によるあいさつの後、ストレッチで体をほぐし、倉内講師よりルール説明が行われた。その後は、参加者のレベルに合わせてコート4面に分かれ、基本動作などの指導を受けた。最後



バドミントン教室

はペアを組み、試合形式のゲームを実施。参加者は懸命にシャトルを追い、楽しく汗を流した。組合では、組合員従業員の健康増進を図るべく、体を動かすレクリエーション事業も計画していく。

場所 問屋町会館
2階大会議室
料金 1人 2,600円 (税込)

場所 梵珠山
料金 1人 200円(税込)

お申込み・お問合せは、卸センター業務部(☎73814711)まで。

業務報告

…主要事項…

8月

3日▽第2回問屋町従業員モーター会議

4日▽第5回問屋町合同清掃

▽(株)吉田産業新社屋竣工式

▽組合員昼食会

▽金融審査会

22日▽第5回理事会

23日▽第4回問屋町防災訓練

▽青銀金友会納涼パーティ
24日▽問屋町支店長・所長連絡会第2回幹事会
25日▽青森市社会福祉大会
26日▽関東甲信越・東北卸商業団地連絡協議会幹事交流会(27日)

28日▽第2回緑のボランティア隊

29日▽法人会社会保険事務実務セミナー

▽青森問屋町経営同友会第2回役員会

…問屋町
ビジネススクール…

25日▽ビジネスマナー研修(訪問・来客対応編)

サービス付き高齢者向け住宅 県内24棟運営
シニアマンション・シルバービュア

高齢者の方に、明るく、清潔なバリアフリーの住居を提供し心身ともに健康を維持、回復していただくことを支援しています。

有限会社ファイナンシャル・サポート
特定非営利活動法人ラ・シャリテ (株)MT・Community

- 月額70,000～100,000
- 全室個室・専有面積12.5～14帖
- (※ストレック・収納・冷暖房・緊急通報装置完備)
- 安心できる生活サポートサービス
- お一人お一人に合わせた介護サービス

青森市第二問屋町3丁目3番31号
TEL 017-739-6538
FAX 017-762-2357
☎0120-934-741

いつもそばに 地域と共に ...未来へ

株式会社 吉田産業青森支店

〒030-0131 青森県青森市問屋町2丁目19-14
TEL 017-728-2111 FAX 017-738-8110

URL ● <http://www.yoshidasangyo.co.jp/>

ISO 9001 JMAQA-831 ISO 14001 JMAQA-E409

- 【業務内容】
- オフセット印刷 (ポスター・チラシ・パンフレット・リーフレット・記念誌 他)
 - 企画・デザイン ●フォーム印刷 (OCR・帳票・メールシール)
 - PDF・CD-ROM製作



第一印刷株式会社

青森市石江字江渡3-1 〒038-0003
tel 017-782-2333 (代) fax 017-781-9153
e-mail: diikg-1@abeam.ocn.ne.jp

delfino

抗菌・防臭・抗ウイルス

デルフィーノコーティング

接触感染により発症するリスクが高い感染症のウイルスや菌を分解・除去します!

株式会社ヒグチ 青森本社/☎017-738-3661
八戸支店/☎0178-38-8411

災害に備えて防災訓練を開催

8月23日(火)、第4回開屋町防災訓練が開屋町会館2階大会議室で開催され、組合員従業員37名が参加した。訓練では、青森市危機管理課及び日本赤十字社青森県支部から講師を招き、心肺蘇生法や災害に対する備えについて学んだ。

当事業の企画担当である大平環境対策委員長のあいさつの後、日本赤十字社の田澤氏の指導のもと救命訓練が実施された。5センチほど押すと(胸骨圧迫の基準となる深さ)音のなる仕組みの心臓型クッションが参加者全員に配付され、胸骨圧迫を体験する

団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、今年3月に妙見から第二間屋町に移転してきた、(有)桂工業の桂木社長にお話を伺った。

同社は昭和57年7月に創業。建築工事業の中の金属工事分野において、既製金物及び製作金物の設計、製作、施工を行っており、青森県を中心に営業している。

「当社では手摺、アルミ笠木、内外装パネル等幅広い製品を取り扱っており、メーカーの仕様によりさまざまな特徴・性能・価格差のある既製金物から、既製金物では対応できない商品や特殊な用途の製品にもオーダーメイドで対応できる製作金物ま

など、心肺蘇生法の一連の流れを学んだ。また、訓練用AEDデモ機を使い、音声案内に従いながら、AEDの使用方法や処置の手順について説明を受けた。

つづいて行われた防災講話では、青森市危機管理課の藤本氏が、災害に対する備えについて説明。毛布タンカの作



心肺蘇生訓練



毛布タンカ実演



タオルを使った救助方法

り方や、もやい結びと呼ばれる救助に適したロープの結び方など、身の回りの物を使った実用的な救命道具の作り方を実際に体験した。

中でも、タオルを使った傷病者の救助方法は参加者を驚かせた。その手順は①タオルを仰向けの傷病者の手首に結び付ける②覆いかぶさる形で

で、お客様のさまざまな要望に

お応えできるよう日々全力を尽くしております。また当社の設計部門では、工場の製作スタッフと直接打合せをすることで品質と効率化の両立を図り、製作部門では、お客様の多様な要望を実現するために最新鋭の機械設備を導入し、その分野を極めた技術者たちが熟練工の技術・経験・知識を駆使してお客様の要望に応えます。



(有)桂工業 代表取締役 桂木 敏介 氏

4年後には東京オリンピックが控えており、需要が拡大してきている一方で、職人の人手不足が危ぶまれております」と問題点についても指摘する。

「問屋町の印象について尋ねると、問屋町は流通業という印象が強かったが、実際組合員になってみると様々な業種が集まっていることに驚きました。事務局で開催する

イベントでは、異業種の方々とふれあう機会も多く、社員同士での繋がりがますます大変良いことだと思えます。また、問屋町経営同友会では自分と同世代の会員も多く、様々な話が聞けるので大変勉強になっています」と話してくれた。

「先日行われたゴルフコンペでは悔しい結果に終わったので、ゴルフの練習をもう少し頑張らないといけないと思いました。プレッシャーに弱いので、まずは精神面から強化します。また今年には講習等で健康に関心しているから健康活動に取り組んでいきたいです。でもラーメン好きなんですなあ」と苦笑(43歳)

編集後記

多田理事が急逝されました。突然の訃報にただ驚くばかりです。氏は大学時代まで卓球の選手として活躍され、またスキーマ技能な方で大変なスポーツマンでした。氏は組合員のほか青森交通安全協会問屋町支部の支部長としても手腕を発揮されました。衷心より哀悼の意を表します。転話題。前号に続き古井祐司氏の「会社の業績は社員の健康状態で9割決まる」をご紹介します。前号では、アブセンティズム(社員の体調不良・欠勤)よりも、実はプレゼンティズム(社員の体調不良のパフォーマンス低下)のほうが問題であり、会社に与える損失が大きいと指摘しました。しかし、それ以上に怖いのが社員そのものがいなくなるという「人の損失」です。中小企業では平均年齢が50歳台、60歳台という会社もありますが、高齢化に伴って病の発症率も増加しています。▼平均年齢が高い会社では、心筋梗塞や脳梗塞で倒れてしまう社員が実に多く、そのほか加齢によつてがんの発症率も上がってきます▼中小企業にとつて社員は財産です。一人がカバール範囲が広い中小企業で社員が就業できなくなることは、一人分以上の戦力喪失になります。場合によっては会社を存続させてきたノウハウ自体がなくなることもあり得ます▼その対策として健康経営の導入が急がれます。経営者は客観的に社員の健康をどう考えているのかを明確にしておく必要があります、それが社員にとっての会社価値のひとつになっていきます▼この稿続く(藤本)

建設業許可(建具、板金工事業)青森県知事(般-28)9925号



～創意と技術～ 有限会社 桂工業

取扱商品

- ・製作金物
内外装パネル(スチール、アルミ、ステンレス)、手摺、タラップ等
・既製金物
アルミ笠木、EXP-Jカバー、内外装ルーバー、手摺、グレーチング、ハニカムパネル等
・エクステリア関連商品
フェンス、カーポート、車止め等

〒030-0113 青森県青森市第二間屋町三丁目6-16
TEL 017-752-8730 FAX 017-752-8732
URL http://www.katsurakougyo.co.jp



らーめんはちもり

青森市問屋町2-10-3
TEL 017-752-9215

【営業時間】

[平日] 午前10時～午後3時/午後4時～午後7時
[日・祝日] 午前10時～午後3時
【定休日】毎週火曜日

